

平成22年7月2日(金) 元福小学校 参加者26名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(副市長、教育長、総合政策部長)
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：昭和50年、40年代の児童数が増えた時代に学校をたくさん建てたが、いま児童数が減っている。ピーク時より6割強の児童・生徒が減っている。その後、2小・4小を統廃合したが、一番多いときから比べて現状、どのくらい減っているのか。他市町村と比べて、一人当たりにかかる教育経費。旧上福岡時代は一人当たり少なかったが改善されているか。思い切って統廃合すべき。

税収が上がることは考えられない。特例債の話もあるが、国も地方も借金だらけ。ふじみ野市のビジョンを示し、優先順位をつけてやっていけば、後回しになるものも市民は納得するのでは。

教育長：東上沿線では当市と滑川町だけが児童・生徒数は増えています。昭和55年前後の人数と比べて学級数はそんなに変わりはなく、9,064名の小中学生です。今後も平成26年には、9,659名で約600名の増です。平成31年には9,727名という中、現在の学校数でぎりぎりの状態なので、統廃合はできません。一人当たりの教育予算、ふじみ野市では一人当たり約16万円。それに対し、10万都市の同規模自治体である富士見市、戸田市、朝霞市、入間市の数字は、どこがこの数字とは言えませんが、89,700円、15万円、120,800円、133,800円ということなので、この金額に負けない教育行政を行いたいと思います。支援員も72名配置しており、同等の市で50名を超えている市はありません。

市長：合併直後の固定費99.7%は県内ワースト1位でしたが、平成20年度決算では95.4%ということで、少しですが改善してワースト3位です。公共施設を造るのに借地をしてきたり、職員数が多いことが、経常収支比率を上げてしまっている要因です。この他に同等の小規模施設が両方の地域にあって職員の配置や維持管理経費もかかります。思い切ってやっていかなければなりません。上福岡地域は公団の開発で人口が増えてきたまち、大井も企業が増えて人口が増えてきたまちです。高齢化率が20.8%になり、それを支えるのは、子育て世代が住んでもらえるまちにすることだ

と思います。介護施設などベッド数は近隣で最も多く、子育て世代だけでなく、高齢者にも活気あるまちにしたいと思います。

上福岡駅周辺のように商業エリアが密集しているところは少ない。高齢化が進むと車社会もいずれ変わり、対話型の商業施設が臨まれます。まだまだ、商店にも望みがあります。商業者が新しい施策を展開できるようなまちにしたい。子どもたちが、自分の生まれ育ったまちを誇れるように、活気呼び起こし、子育て世代に住み着いてもらえるようにしたい。今すぐにやりたいのはそういう政策です。

参加者：遊水池は川越が造ったが、水害があるのは元福地区。この遊水池はこの辺の水害対策でつくったのではないのか。

川越江川が増水すると水門を閉めるが、元福地区が増水する。元福岡以外の駒林あたりの対策はどうなっているのか。遊水池、1万坪あるが、まだいっぱいになったことがない。いっぱいになると水を出さと思うが、下流はどうなるのか。福岡江川のあたりに遊水池をつくるのか。

遊水池も散歩している人も多い。トイレ、水のみ場を川越がつからないなら、ふじみ野市でつけれないか。

北野の傾斜地。擁壁について危ないと思うが、どのように検査して改善していくのか。今後十分考えてほしい。

市長：元福地域は水害が長年の懸案です。市内には水害の箇所はかなりあり、以前よりゲリラ豪雨の関係で増えている状態です。

副市長：水害対策について、短期的な解決として、マンホールポンプで対応しています。污水管と雨水管を分けるのが重要で、調査することとなっています。昨年はポンプの効果だと思いましたが、床上浸水はありません。寺尾調整池は県の事業ですが、検討した結果散策路となりました。川越と協議して県にも要望したいと思います。

水門の件について、新河岸川は県管理で、県は日流量で管理しており、逆流させないために閉めます。今度、川崎橋の下が広がりますので、深く掘って溜めることも県へ要望します。

擁壁については、道路の一部の擁壁なら市で行いますが、所有関係を調べてみます。

参加者：こういう財政状況になった今、思い切って整理統合が必要。市民から見れば数は多い方が良いが、当市は狭いエリアに10万が住んでいる非常に便利なまちである。川崎や下福岡、関越の向こう側を除けば、大体市街化され、歩いても行ける距離である。誰が市長でもやらなければならない。

どの部署でも市で見直しをやっていると言って体裁よく断られる。それなのに、公民館分館は建替えを行っている。理解できない。見直しをやっている中の建て替えは、言ってることとやっていることと全然違うのではないか。最終的には、市民が負担することになる。もう5年になるので思い切って整理統合する必要がある。見直しの時期ではない。平成21年度に自治会連合会が発足した。旧上福岡と旧大井の自治会館の扱いがまったく違うことについて、統一を図ってもらいたい。平成21年度から光熱水費のみ10万6千円もらっているが、他にも非常に経費はかかる。片方では、公共施設を無料で使っている。大井地域でも受益者負担が必要、あまりにも違いがありすぎる。

市長：分館と集会所の制度は、いままでも問題にされていましたが、解決していません。市長も議員もなかなか言えない部分はありますが、今回はハッキリ言っていかなければならないと思います。ただ、大井の分館は歴史の中でコミュニティの補助金などで造ってきました。過去に決定されていたのが、進行中のものもありますが、旧大井地域の方からも受益者負担をとるべきだと話があります。身近な問題なので、いろいろ話を聴きながら、思い切った決断をしなければなりません。

参加者：老朽化する施設についてアンケートに答えられない。情報が少ない。職員の頭数を少なくすれば空間が生まれる。そこを利用して、もう少しネットワークシステムを整備するようなことが必要。使えるところは、他の用途で使うことも必要。耐震に合併特例債を使うだけでなく、雇用創出できる施設など整備も必要。たえず分かりやすく情報を公開してほしい。過去の問題を拾い出し、直接解決型でやっていこうとしても無理である。20年後の都市構想を具体的に市民に分かりやすく、マニフェストも交えて説明して欲しい。

市長：この時間内で欲張ったので、なかなか説明ができず申し訳なく思います。市内に優秀なキャリアをお持ちの方が大勢いるので、人材バンクとして活用したいと思います。情報ネットワーク等についても、おっしゃるとおりです。将来のビジョンをお示ししながら、我慢もお願いしていきます。

参加者：葦原中前の道が狭くて渋滞したり、大型車も入ってくる。学校側に拡幅できないか。授業にも影響が出ている。

養老橋から上流で土手が寸断してしまっている。そこを対応できれば、権現山からウオーキングなどで入りやすい。

集団資源回収で年間120万～130万の収入があったのに、市からの回

収方法の指導により、年間で20万しか入らなくなった。集積所に置いてはいけないと言われそうしたのに、そうでない地区もある。小学校にお金が入る方法を考えてほしい。

市長：歩道と校舎の幅はどうか検討したいと思います。土手の件は、県にお願いします。

参加者：マンホールのふたの上を車が通過して音がうるさい。
資源回収はごみ集積所に置いてもよいと環境課から言われた。

【個別回答】

集団資源回収の集積場所は、以前から説明会でもお話をしておりますが、ごみ集積所とは別の場所にしていただいております。

その理由として、ごみ集積所は、市が行う家庭ごみの収集に際して利用する場として規定しており、市が委託した、ふじみ野市資源リサイクル協同組合の業者のみ収集できることとなります。また、家庭系ごみの収集日以外の土・日等でも、その場所を使用した場合は不法投棄の誘発等の要因となります。

このようなことから、ごみ集積所の使用については資源物の回収を目的とした集団資源回収の集積場所として利用することができませんのでご理解、ご協力をお願い申し上げます。市では、集団資源回収が適正に行われているか現地確認をさせていただいております。

また、何か、ご不明な点がございましたら、ご説明させていただきますので、直接、環境課廃棄物対策係にお問い合わせくださるようお願い申し上げます。

参加者：川崎橋の欄干付近で階段のところに竹飾りの穴を2本設置してほしい。

副市長：橋を管理している県へ働きかけていきます。

参加者：川崎集会所が老朽化して修繕費が非常に多い。土地も借地で更新料が20年間ごとに180万円かかる。年間にすると9万円。大井地域の分館と扱いが違う。学校の空き教室は利用できないか。市でも財政厳しいが、補助金をアップできないか。

市長：3分の2の補助金をアップする議論ではなく、分館利用者に受益者負担のお願いをするのが筋だと思います。

教育長：学級だけなら足りるが、少人数学級や学習進度別の学級運営など、他の用

途で利用するのでお貸しするのは難しい学校もあります。

参加者：子育て世代が住みたくなるまちということだが、具体的な取り組みは。子育てと、高齢者の問題は重要。市全体で福祉バンクのシステムをつくって欲しい。全市をあげて市民の力を集めていく取り組みが必要である。公民館の閉鎖は将来的にも良くない。そういうところの運営について市民の力を活かしてほしい。

市長：幼保連携など、新しい施策をしている自治体もあるので先進事例を研究したいと思います。福祉バンクの件について今、地域支えあいの制度をつくっていますが、行政だけではできないので、市民の皆さんの力を借りて施策を展開していきたいと思います。

参加者：どれを優先するかは、難しいが、やはり思い切って削減していかないといけないと思う。

学校の件だが、思い切って統廃合に踏み切るべきだと思う。全国で500万人児童数が減っている。教室は余っているはず。物置にしているだけではないか。幼稚園、保育園、文部科学省、厚生労働省、なぜ一緒にできないのか。地方からも声を上げてほしい。学校内で就学前教室ができないのか。給食、地元からB級品の野菜などを安価で提供してもらえれば、もっと安い。味は変わらないのだから、たとえ1000円でも安い方がよい。

市長：頑張ってます。

参加者：ゆとり教育で子供が休みになるから、地域で何か考えてほしい、と言われ寄附を募り太鼓を購入して始めたが、今は3人しか子どもが集まらないので、大人がやっている。集会所では毛布をかけてやっている状態。体育施設を太鼓も含めて音楽などに開放してほしい。

市長：この場で開放できるとは言えませんが、考えてまいります。

【個別回答】

体育館の利用は、近隣住民に迷惑をかけず、施設（アリーナ）に傷をつけない内容であれば基本的に利用をしていただくことが可能と考えております。

体育館で太鼓の練習をしたいとのことですが、施設によっては音や振動による騒音公害のため利用が出来なくなった例もあります。

対応策としては、太鼓の上に毛布を被せたり、体育館の扉を全部閉め切り利用しておりましたが、結果的に利用できなくなった学校もあります。

このことから、住宅地近辺での太鼓の練習は、大変申し訳ありませんがお勧めできない状況にありますのでよろしくお願いいたします。

上記内容を伝えるが、元福岡小体育館の使用ができないのかという質問があり、再度体育館に問い合わせたところ、学校開放の位置づけを研究したいので、7月未まで待つて欲しいという回答だった。

公民館に問い合わせたところ、上福岡公民館・コミセン(視聴覚室使用可能：有料)、大井中央公民館(視聴覚室使用可能：無料) 但し減免申請が必要。

21:20 閉会